京都府立医科大学 消化器内科学教室 医局だより

Department of Gastroenterology and Hepatology Newsletter

第1号 (2026年春号)

新年度を迎え、京都府立医科大学消化器内科学教室では、新たにスタッフ4名、大学院生5名、専攻医2名を迎えました。本号では、新メンバーのご紹介に加え、4月1日に開催した歓迎会の様子、教育体制の充実に関する新たな取り組み、ならびに今後の主な医局行事についてご紹介いたします。今後も年4回、教室の近況をお届けしてまいります。

髙木教授よりご挨拶

新年度を迎え、消化器内科学教室は新たなスタッフ・医局員を迎えて歩みを進めております。日頃より関係病院の先生方には、診療、教育、研究にわたり多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今後も密な連携を基盤に、地域全体で質の高い消化器医療を提供できるよう努めてまいります。本年度も変わらぬご指導、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

新メンバー紹介

2026年度は、計11名が新たに加わりました。新たな仲間とともに、診療、教育、研究のさらなる充実を目指します。

スタッフ

- 北江博晃 先生 (近江八幡市立総合医療C)
- 梶原真理子 先生 (市立福知山市民病院)
- 山内克真 先生 (京都済生会病院)
- 池田京平 先生 (京都府立医科大学)

大学院生

- 眞嵜美佳 先生 (近江八幡市立総合医療C)
- 安達有博 先生 (京都第一赤十字病院)
- 佐井泰幸 先生 (明石市立市民病院)
- 横谷優作 先生 (朝日大学病院)
- 安藤成俊 先生 (松下記念病院)

専攻医

- 最勝寺正輝 先生 (宇治徳洲会病院)
- 高橋宏往 先生 (日立総合病院)

スタッフ紹介

がん薬物療法部副部長
消化器内科学内講師（兼任）

土井 俊文 先生

2026年2月より、石川剛先生の後任として、京都府立医科大学附属病院がん薬物療法部副部長を務めております土井俊文です。消化器がんを中心に、がん薬物療法、がんゲノム医療、臨床研究に取り組み、現在も消化器内科診療を兼務しながら各診療科と連携して診療にあたっています。標準治療に加え、希少がん、原発不明がん、ゲノム医療に基づく治療提案、有害事象マネジメントなど、治療方針に迷う症例についても幅広くご相談をお受けしています。関係病院の先生方からのご紹介、ご相談にも丁寧に対応してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

内視鏡モデル「Mikoto」導入

同門会費ならびに同門の先生方からのご寄附を活用し、内視鏡モデル「Mikoto」を導入しました。 本モデルは、内視鏡挿入や観察、処置手技のトレーニングに活用でき、専攻医、若手医師、学生への教育の充実に大きく寄与することが期待されます。ご支援を賜りました先生方に心より御礼申し上げます。今後は教室内での利用に加え、関係病院の先生方にもご活用いただきたいと考えております。若手の先生方とぜひトレーニングにお越しください。

歓迎会を開催しました

4月1日、青蓮会館にて新入局の先生方の歓迎会を開催しました。当日はスタッフ、大学院生、専攻医が一堂に会し、和やかで活気ある会となりました。新たな仲間を迎え、教室一同、あらためて力を合わせて取り組んでまいります。

洛都消化器カンファレンスを開催

4月22日、洛都消化器カンファレンスを開催しました。今回は大腸内視鏡挿入のtipsがテーマでした。今後も毎月第4水曜日を基本に継続開催し、関係病院の先生方とも学びを共有していきたいと考えています。

今後の主な予定

5月23日
医局説明会
(京都府立医科大学)

6月28日
教授就任祝賀会
(京都ホテルオークラ)

今後も教室の活動や近況をお届けしてまいります。引き続きご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

文責：瀬古裕也